



岐阜県本部だより

japanese government approved non-profit organization(npo) japan karate ayotorenmei HP: <http://www.fainet.or.jp/~jks-gifu/>

発行: NPO法人日本空手松涛連盟岐阜県本部
岐阜県岐阜市森東9番地 tel(058)229-6066

発行責任者: 岐阜県本部広報部
岐阜県瑞穂市別府 1214 tel/fax(058)326-5512



勝と言う字は
氣と詰める



厳寒の中、どこからそんな元気が……
初稽古にやってきた子供たちは
隙間無く着込んだ大人たちを尻目に
まるで真夏の砂浜の如く駆け回る。
走って、転んで、ぶつかって、
飛んで、跳ねて、叫んで、泣いて、
羨ましい事に子供たちは
何をやっても成長してゆく。
しかし、それを我々大人たちが
「子供だけの特権」と認めてしまうのは
あまりにも夢のない話。
子供の存在は我々大人に、
行動のきっかけや、夢への決断
元気の源を体いっぱいであげられる。
我々大人が子供たちに与えられるのは
愛情や金銭だけではないはず。
今着ているものを
たった一枚でもいいから脱ぎ捨て、
子供と一緒に
走って、転んで、ぶつかって……
単純だが、今の大人が
一番やらねばならないことの様にも思う

曖昧さも「グレイゾーン」として容れられ、
とかく勝敗を白黒させない昨今の風潮。
しかし、空手試合の勝負に関わらず、
日常のそこかしこにある小さな目標。
その目標の達成を勝利とするならば、
我々はきっと、数え切れない程の
勝ちを積みできた事だろう。
勝つ為には何をすべきか……
目的を明確にし、次に照準をあわせ、
そして腰を上げ、はじめの一步踏み出す。
負けがあるから勝ちがある。
負けがあるから価値がある。
まずは衣一枚脱ぎ捨てて、いざ己との勝負

第19回世界空手道選手権大会閉幕 我ら松涛連盟選手 日本の威信を掛けて大活躍



香川政夫コーチ 70kg級 3位 永木伸児選手 65kg級 3位 二瓶卓朗選手 無差別級 優勝 佐藤祐香選手

昨年、11月13日から16日まで4日間、31年ぶりに日本で世界空手道選手権大会が開催された。競技人口6000万人ともいわれる今日の空手道。120カ国から選抜された1200人の代表選手が、武道のメッカ日本武道館に集結。極限まで鍛え上げられた肉体、技、そして精神力。迎える空手母国、日本。最強の布陣日本チームの中で、我々松涛連盟の選手達が堂々たる成績を残した。佐藤選手の優勝、永木選手、二瓶選手の3位入賞、他にも男子無差別級に平山真也選手、帝京大学の甲斐健太選手、香川幸充選手、そして彼らを全日本代表に育て上げた我々松涛連盟技術局長 香川政夫師範が日の丸を背に大会に挑んだ。

また、会派こそ違えども岐阜県出身の松久功選手(右写真)も大健闘をみせた。試合中の大きな怪我にもかかわらず、75kg級で見事3位に入賞。この世界大会の後、12月に行われた平成20年の全日本選手権でも優勝し、見事連覇を成し遂げた。



他にも井潤智選手の80kg級優勝、藤原菜希選手の53kg級優勝、女子団体形優勝など、空手母国日本を世界に知らしめた結果となった。だが、オリンピック正式種目認可に向けて、世界各国の取り組みは我々の予想以上である。各国の技術レベルの進歩は目覚ましいものがあり、恵まれた体格や身体操作能力が、独特のリズム感と相まって、日本選手を窮地に追い込むシーンも多く見られた。某国では、日本人と試合をする場合のマニュアルまで配布されているというのだから驚く。そういったプレッシャーにも打ち勝って、素晴らしい成績を残してくれた日本選手達に敬意を表すと同時に、我々が歩む空手道は、世界にも通じている事を再認識し、日々の稽古に、そして指導に励みたい。

尚、この世界空手道選手権大会、次回は2年後、セルビアでの開催が決定している。

○この模様はBSフジにて連日連夜放送されました。大会の模様は(株)チャンプにてDVDが発売されています。

○この大会を実際に武道館で見てきた小学3年生の女の子に、感想文をいただきました。

土曜日にお父さんが、急に「おい、東京行くぞ」と言い出したので、私は何をしにいくのか全然わかりませんでした。お父さんと二人で新幹線に乗って行きました。そこでは空手の大会をやっていて、いろいろな国の選手がたくさんいました。

私は永木先生を応援しました。全国大会で写真を撮ってもらったことがあるからです。二瓶先生や佐藤先生も応援しました。アガエフ(※アガイエフ:アゼルバイジャンの選手で70kg級優勝)選手の試合は凄かったです。ちょっと怖かったけど話しかけたら笑顔で握手してくれました。1日で帰るつもりだったけど、お父さんがまた急に「泊まって、明日も見るぞ」と言ったので泊まっていきました。いつか私も世界大会に出てみたいと思いました。

閑話休題

<勝負脳>の鍛え方 林成之(著) 講談社現代新書

スポーツで、仕事で、勉強で、あなたが今まで負けていたのは脳の使い方が悪かったからだ。人間の脳の仕組みを知り(勝負脳)を鍛えて人生を変える。脳外科の第一人者が贈る処方箋! 序章 脳を知れば勝てる

第一章 脳はこんな働き方をしている 1 「意識」「心」「記憶」は連動している 2 イメージ記憶とは何か 3 こうすれば頭はよくなる
第二章 これが勝負脳だ 1 「心・技・体」の落とし穴 2 勝負脳を全開させる九つの秘訣 3 人間は勝負を通して成長する
第三章 「心・技・体」を科学する 1 試合に勝つための「心」 2 試合に勝つための「技」 3 試合に勝つための「体」

講談社(2006/10/21) 167ページ ISBN-10: 4061498614 ISBN-13: 978-4061498617 ¥735

◎紹介するのを躊躇うほど、空手家にとっては本当に参考になる1冊、迷った挙句のご紹介です。スポーツは脳の機能である。著者が講師として、北京五輪日本水泳隊に戦う時の心構えを伝えた事が話題となり、北島康介選手が金メダルをとったのち、注文が殺到したそうです。

~2月、3月の行事予定~

2月11日(祝) 岐阜県本部形・組手・審判講習会 岐阜市総合体育館にて 詳細は各支部長に配布

3月1日(日) 岐阜地区昇級審査会 午後より 岐阜県昇段審査会 岐阜アリーナにて

3月 未定 岐阜県大会参加申し込み締め切り

3月27~29日 全国中学生空手道選抜大会 北海道北広島市総合体育館 ※松涛連盟の選手が多数出場します。